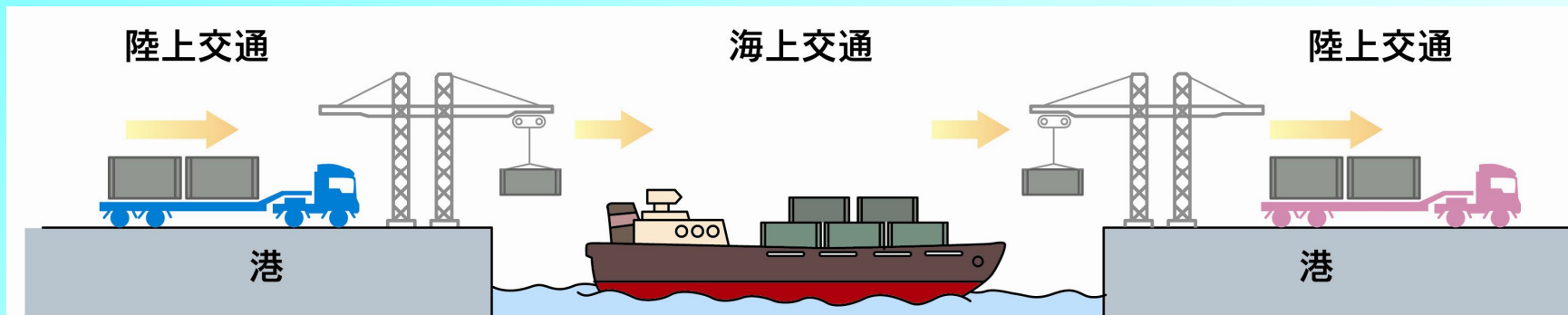


みなと やくわり
港の役割

りくじょうこうつう てつどう じどうしゃ かいじょうこうつう
陸上交通（鉄道や自動車）と海上交通

ふね ばしょ
（船）の「つなぎめ」となる場所です。

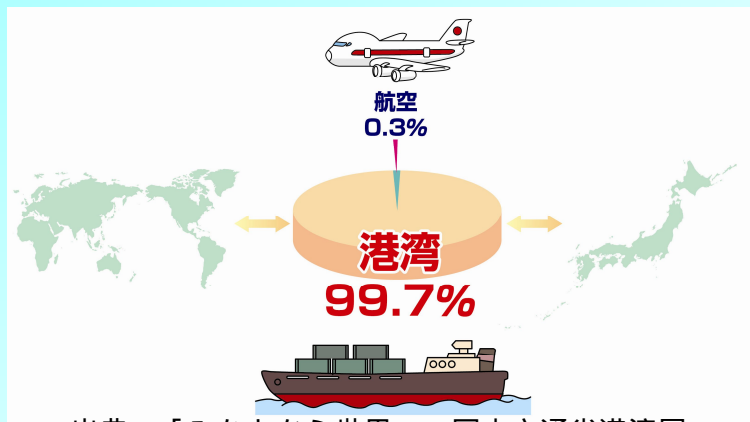


みなと やくわり 港の役割

にほん うみ かこ しまぐに
日本は海に囲まれた島国です。

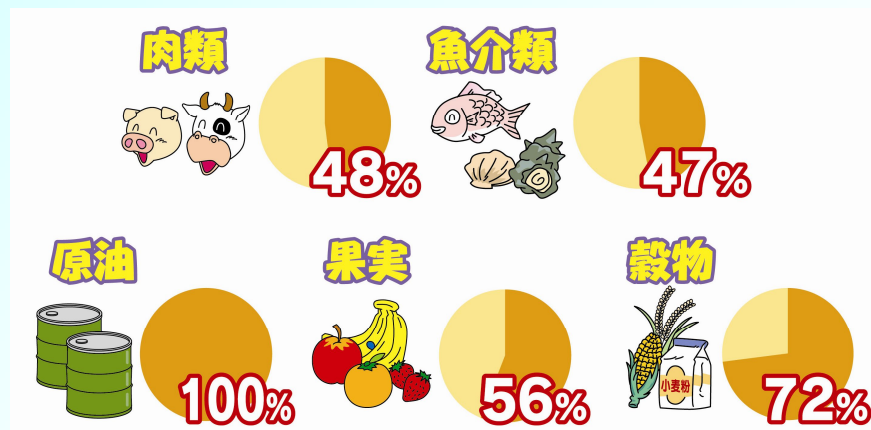
このため、食べ物の材料などは、ほとんどが港
をとお通して外国がいくから運はこんでいます。

また、日本にほんでつくった自動車じどうしゃなどの製品せいひんも港みなとを
通とおして外国がいくへ運はこんでいます。



出典：「みなとから世界へ」国土交通省港湾局

外国貿易（輸入）による率



みなと やくわり

港の役割

(船のいいところ)

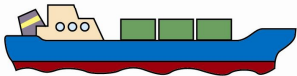
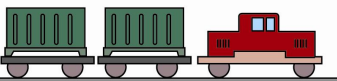



船は一度に大量の人や物を運ぶことができ

るので、他の運送方法に比べ効率がよ

く、環境にやさしい運送方法です。

1トンの貨物を1Km運ぶのに消費するエネルギー比較

鉄道=100とした場合

	海運	 109	128kcal
	鉄道	 100	118kcal
	営業用トラック	 570	671kcal
	自家用トラック	 2270	2673kcal

出典：「みなとから世界へ」
国土交通省港湾局



みなと やくわり 港の役割

ふね
(船のいいところ)

ふね いちど ひと もの はこ
船は一度にたくさんの人や物を運ぶこと

うんそうひ やす
ができるので、運送費が安くてすみませす。

がいこく はこ もの やす て はい
外国から運ばれてくる物が安く手に入る

ふね みなと
は、船や港のおかげです。

